

【Project Flow2014 in Japan】



**(株)富士通システムズ・ウエスト & Realization Technologies が
提供できる新たな価値について**

全てのプロジェクト成功のために

2014年12月11日

株式会社富士通システムズ・ウエスト

部長 中江 功

片山 知樹

プロジェクトを成功させるための プロジェクトマネジメントとその考え方

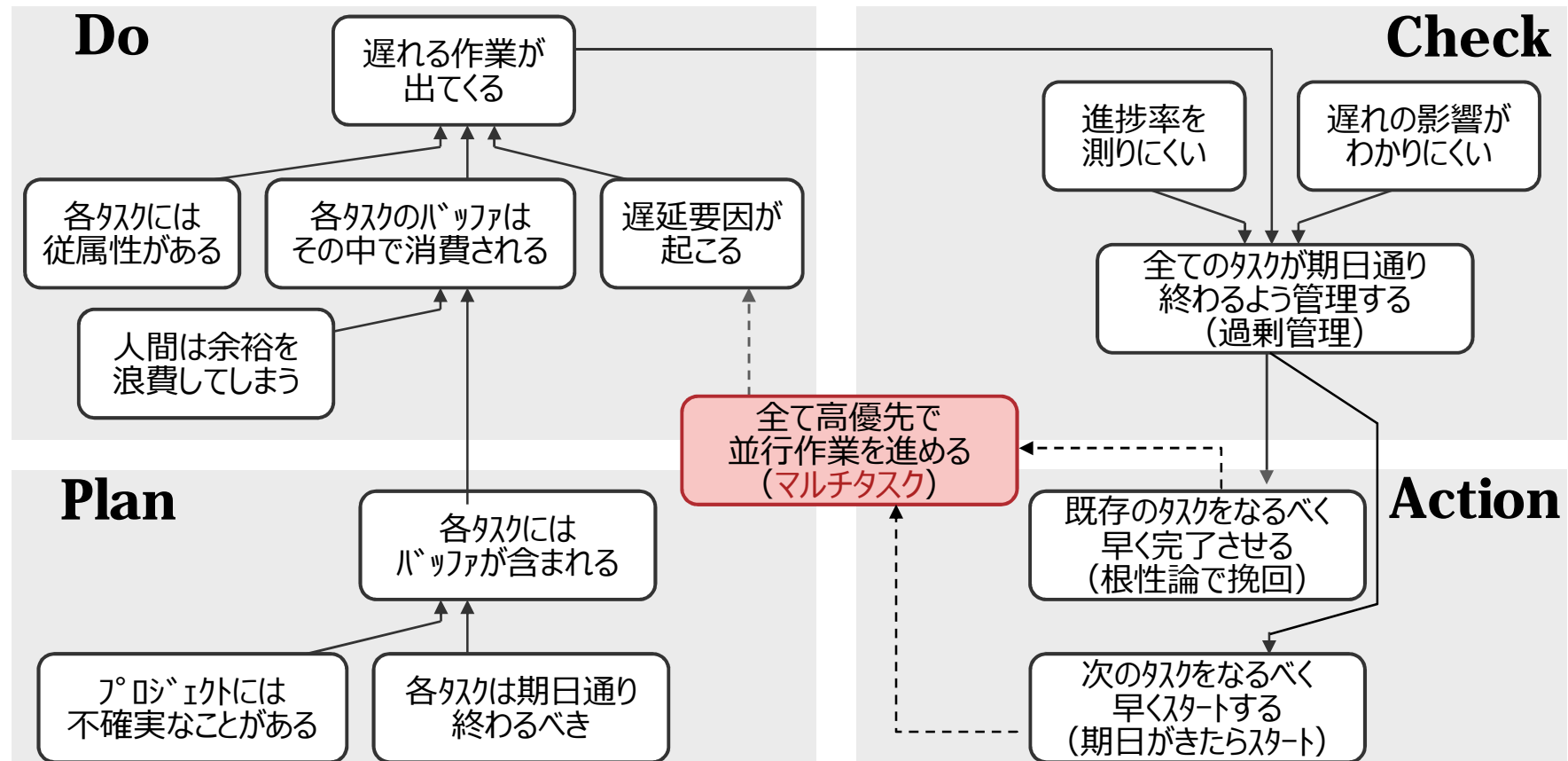
従来のプロジェクト管理の問題

n 従来のプロジェクト管理

個々のタスクの期日を守れば、プロジェクトが納期通りに終わるという考え方。
タスクの期日にこだわるためタスク毎にバッファを設定。

最初からタスクは長く見積もられ、プロジェクト全体の期間が長くなる。

プロジェクトマネージャは全てのタスクの進捗を管理



ありがちな進捗率管理の問題点

進捗率・完了率管理の例

先週時点 20XX.12.04

| サブシステム | 機能数 | 予定 | 実績 | 進捗率 | 完了率 |
|--------|-----|----|----|-----|-----|
| 販売管理 | 100 | 40 | 30 | 75% | 30% |
| 財務管理 | 90 | 30 | 20 | 66% | 22% |

1週間経過

現在 20XX.12.11

| サブシステム | 機能数 | 予定 | 実績 | 進捗率 | 完了率 |
|--------|-----|----|----|-----|-----|
| 販売管理 | 100 | 50 | 40 | 80% | 40% |
| 財務管理 | 90 | 40 | 30 | 75% | 33% |

いつ終わるの？

- n この表現は進捗率が実際のスケジュールに対してリニアに進むことが前提
- n 内部レビュー完了で70%、レビュー反映完了で80%とマイルストーン指標
- n 90%で以降進まない（その後の見通しが見えない）
- n 優先度が分かり辛い（見誤る）
- n 結局大切なのは「時間」、要はあと何日で完了するのか？（出来高を残り日数に）

従来マネジメントとCCPMの違い(Before/After)

変わるのは「現場」でなく「マネジメント」、マネジメント層の意識改革が必要

| | 従来のプロジェクトマネジメント (Before) | CCPMによるプロジェクトマネジメント (After) |
|---------|--------------------------------|---|
| 考え方 | 個々のタスクの期日を守れば、プロジェクトは納期通りに完了する | 期日で管理せずバッファの消費状況でプロジェクトを管理 |
| マルチタスク | あまり考慮しない | 段取りに時間がかかり、生産性低下の原因。極力排除する |
| 進捗確認 | タスク進捗率で管理 | 「あと何日？」とクリティカルチェーンの完了率とバッファ消費率で管理 |
| タスクの遅れ | 恥じる、責められる対象 | チャレンジした期間のためバッファ消費は想定通り、バッファはみんなです使う共通認識のため恥じない文化 |
| 遅延の発見時期 | 期日遅れはプロジェクト終盤に判明する事が多い | プロジェクトの早い段階から判明 |
| 助け合い | 助け合いは困難な状況が多く、実施は少ない | バッファを外部に見せているので、「助け合い」・「思いやり」が多くなる |

- n W I P を制限する(下げる)
- n 優先度に従う(バッファの優先順位)
- n 実行プロセス(会議体とアジェンダ・役割)
- n フルキット(万全なる準備による合流ポイントの前倒し)
- n 局所的評価の排除(人が動きやすい評価の設定)

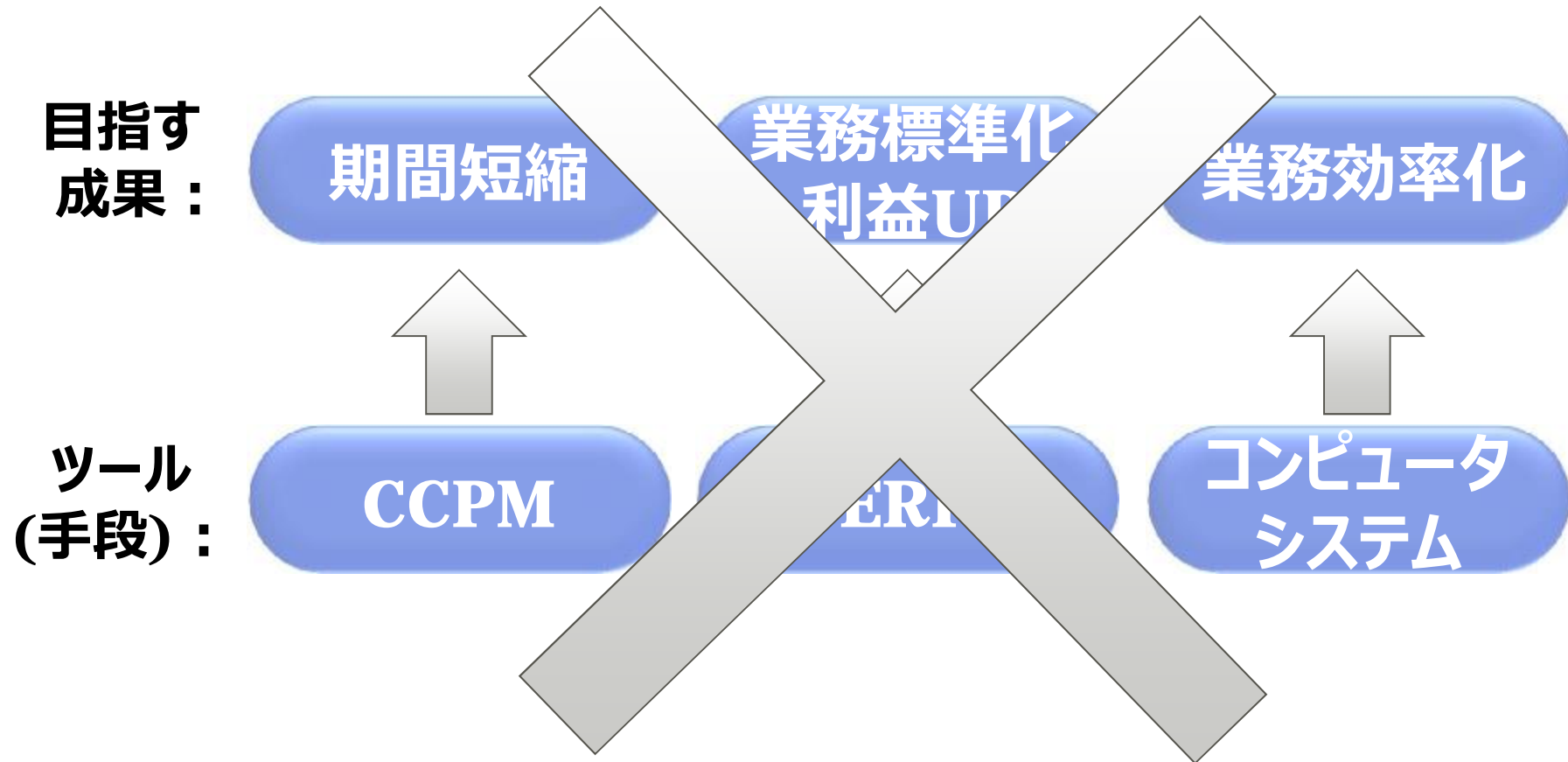
PMBOKとCCPMの関係

 : 直接的なCCPMカバー範囲

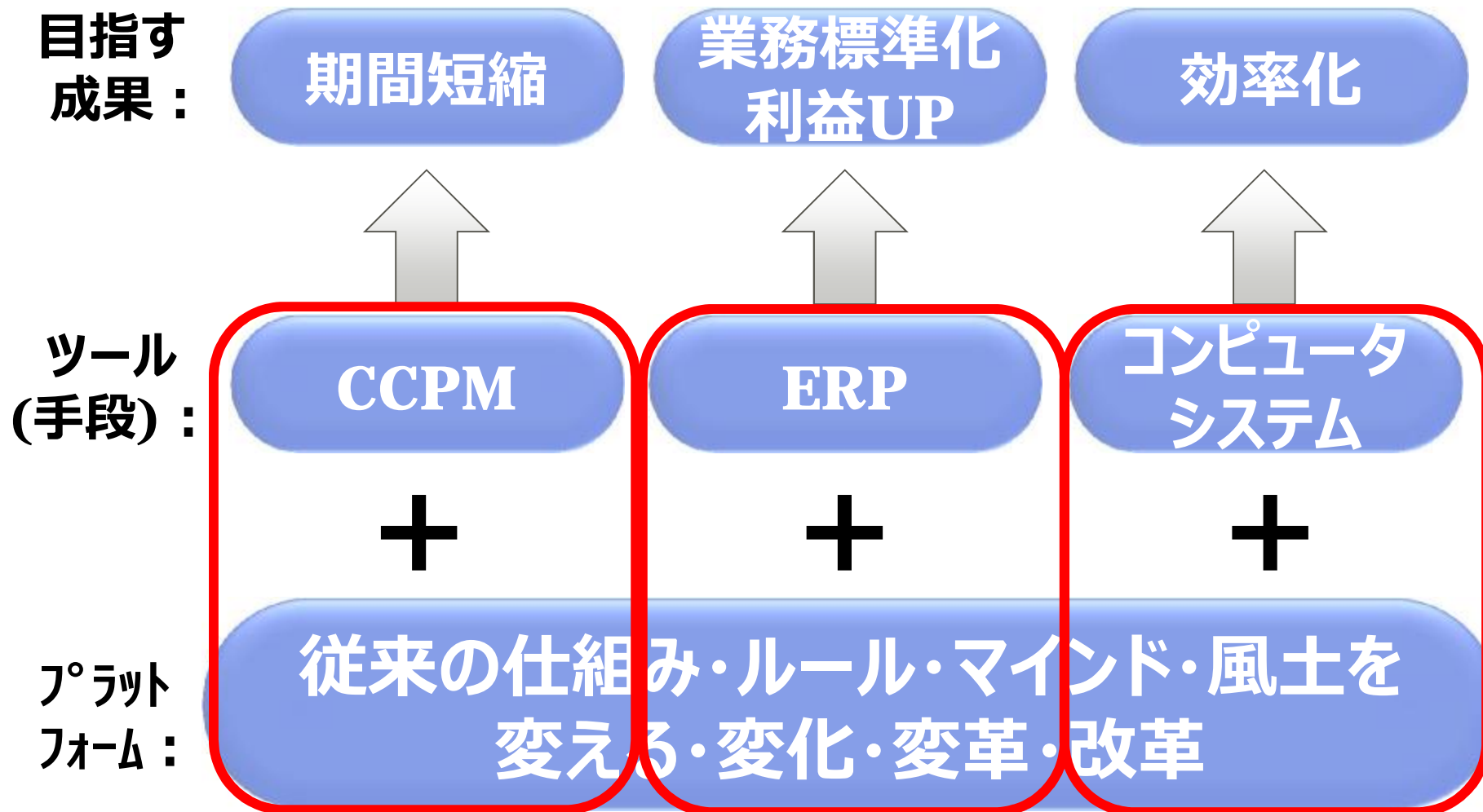
| カテゴリ | | 工程 | RD | UI | SS | PS | PG | PT | IT | ST | OT |
|---------------|-----------------|----|----|----|----|------|----|----|----|----|----|
| A.経営 | A1.経営 | | | | | | | | | | |
| | A2.組織 | | | | | | | | | | |
| B.業務 | B1.業務運用 | | | | | | | | | | |
| | B2.業務機能 | | | | | | | | | | |
| C.システム要件 | | | | | | | | | | | |
| D.アプリケーション | | | | | | | | | | | |
| ... | | | | | | | | | | | |
| I.開発支援 | | | | | | | | | | | |
| PMBOK 知識体系 | 統合マネジメント | | | | | CCPM | | | | | |
| | スコープマネジメント | | | | | | | | | | |
| | タイムマネジメント | | | | | CCPM | | | | | |
| | コストマネジメント | | | | | | | | | | |
| | 品質マネジメント | | | | | | | | | | |
| | 人的資源マネジメント | | | | | CCPM | | | | | |
| | コミュニケーションマネジメント | | | | | | | | | | |
| | リスクマネジメント | | | | | | | | | | |
| | 調達マネジメント | | | | | | | | | | |

プロダクト作業体系
 成果物によって前提条件、専門性や
 WBSが異なる領域

失敗する考え方



成功するポイント



プロジェクトの成功を加速させる **CONCERTO**ツール

Concertoツール：年々、発展し続けてきました



CONCERTO KEY MILESTONES

お客様の要望や声を取り入れて
機能改善、機能追加をしてきました

- Virtual Drum
- Multi-Division Pipeline
- Trend Indicator
- Issues/Action Items
- MSP 2007/ ASP .NET

- New CC Client
- Escalated Tasks
- Subproject
- Network Editing (Web)
- POOGI

- Flow Trend
- Pipeline WIFs
- Teams
- VLS Scalability

- New Web Interface
- Check-in/out on Web
- MSP-independent DB
- Pipeline Status
- Enhanced Security

- Stable Pipelining
- CC Re-Planning
- Resource Portal

- CC Planning
- Task Priorities
- Project Control
- ActiveX->HTML
- 24x7 Availability
- Pipelining

CC
BOOK

1997

1999

2001

2003

2005

2007

2009

今後もお客様の要望を取り入れて
お客様と共に成長させていきたい

2015/6
CCPM2.0対応

2015/3
Ver5.10 次期エンハンス予定 (要望対応)
・プロジェクト名 センタリング対応 など

2014/5
Ver5.10 エンハンス (要望対応)
実際に日本のお客様から要望のあった内容を反映
・ポートフォリオ画面で、検索条件入力画面で止める
・ダッシュボード画面で、フィルタ条件を追加 など

2013/6
Ver5.10 リリース
(Concertoクラウドサービス開始)

日本語版(Ver5.8) リリース

2010

2013

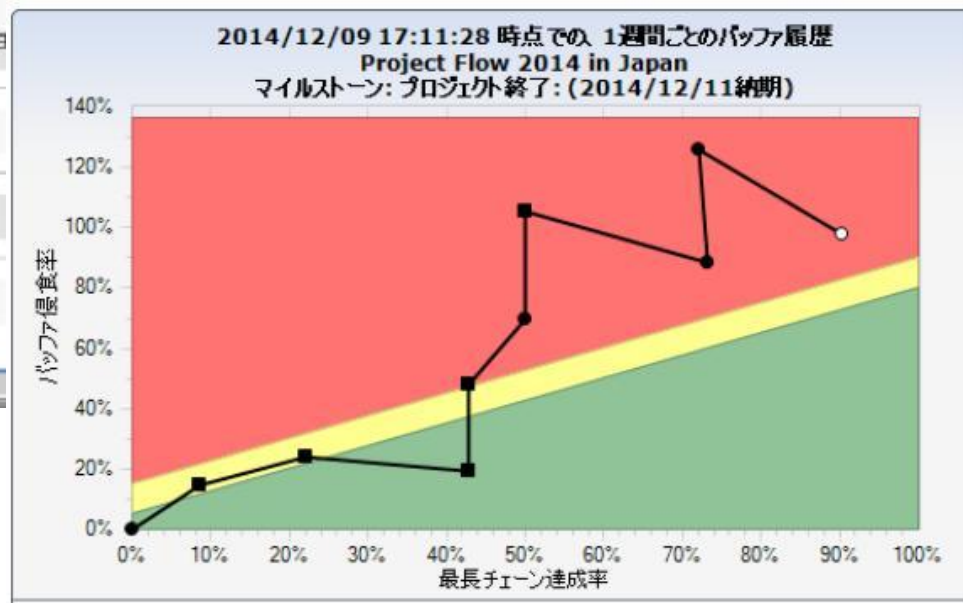
2014

2015

どのようなイベントでもCONCERTOで管理可能！

複数タスクがあり、タスク間に繋がりがあり、締め切りがある一連の作業であれば、何でも管理できます。

(例) Project Flow セミナー準備



CCPM取り組みのロードマップ

<～2013年度>

基盤構築

PMI日本支部へ
事例報告

富士通・
FWEST自社開
発PKGへの適
用開始

CONCERTO
クラウドサービス
開始

ITプロジェクト
CCPMコンサル
ティング支援

<2014年度>

認知度UP

お客様事業分野へ
のCCPM適用

組織へのCCPM
適用拡大

PM学会国際カン
ファレンスにて
事例報告

日本語版
CONCERTO
エンハンス

CCPMカンファレンス
(Project Flow
2014 in Japan)

<2015年度>

定着化

お客様事業分野へ
のCCPM適用発展

CONCERTO
事業システム連携

日本語版
CONCERTO
エンハンス
(CCPM2.0対応)

CCPMカンファレンス
(Project Flow
2015 in Japan)

<2016年度>

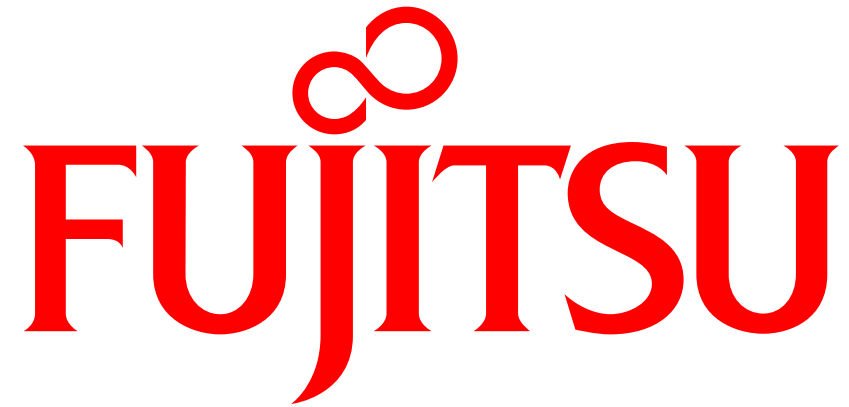
スタンダード化

産学連携による
Innovation創出

日本語版
CONCERTO
エンハンス

品質・コスト
マネジメントシステム
との連携構築

CCPMカンファレンス
(Project Flow
2016 in Japan)



shaping tomorrow with you

株式会社ゴールドラット・コンサルティング・ジャパン

大和ハウス工業株式会社

株式会社LIXIL

株式会社旭製作所

東京海上日動システムズ株式会社

株式会社富士通ミッションクリティカルシステムズ

Realization Technologies Inc.